

皆様こんにちは、山口県教職員団体連合会委員長の島村暢之です。

7月5日に中国地方及び九州地方を襲った集中豪雨が各地で甚大な被害をもたらしたというニュースを目にし、心を痛めていらっしゃる方々が多いことと思います。私もその一人であり、1ヶ月以上を経過した今もお不自由な生活を強いられている方々に、1日でも早く心休まる時間が訪れることを祈るばかりです。そのような中、子供たち、そして地域のために昼夜を問わず活動されている方々に対し深甚なる敬意を表します。県教連としても、少しでも復興のお役に立ちたいという思いから、全日教連との共催で募金活動を実施しています。会議や分会訪問の折に募金箱を持参いたしますので、御協力をお願いいたします。

去る8月5日(土)、6日(日)に開催した「教育研究全国大会(山口大会)」では、2日間で延べ約800名の参加があり、大会を成功裏に終えることができました。参加した各単位団体会員の方々からアンケートが返ってきているところですが、感想を幾つか御紹介いたします。

- ・「会場が分からずに困っていた時に、スタッフの方が声を掛けてくださり、とても有難かったです。」
- ・「初めての参加でしたが、スムーズな運営でとても有意義な時間を過ごすことができました。次回徳島大会も参加したいです。」
- ・「スタッフの方が笑顔で対応してくれたのが印象に残っています。ありがとうございました。」

参加された方々に、このように喜んでいただくことができたのは、ひとえに役員をお引き受けいただいた県教連会員の皆様の温かいおもてなしの心のおかげです。また、5日の分科会や助言者ゼミナール、6日の記念講演と会場に足を運んでくださった皆様、本当にありがとうございました。

閉会行事の中の主管代表挨拶で、私は県教連の方に向けて、次のように話しました。

『県教連会員の皆様。結成以来一貫して「子供たちへの教育の充実が第一」という考えのもと、「子供に夢を 職務に誇りを」というスローガンを掲げ、教育専門職としての資質の向上を目指して活動を続けてきた県教連にとりまして、今回の大会はたいへん有意義なものとなりました。全日教連という全国組織の一員であるという誇り、そして全国の皆様から頂いた教育に対する熱い思いを起爆剤とし、会員全員で組織拡大に邁進していきましょう。』

教研全国大会(山口大会)に参加された会員の皆様、是非全国の仲間と語ったことを参加できなかった会員の方々に伝えていただきたいと思えます。また、未加入の方々には、県教連、全日教連が、そして全国の仲間達が、子供たちを第一とする教育推進のためにどれだけ頑張っているかもお伝えてください。そして、会員全員で組織拡大に取り組んでいきましょう。よろしくお願ひします。

最後になりましたが、本大会を企画、運営するにあたりましてお力添えをいただいた皆様に厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

平成29年8月
山口県教職員団体連合会(県教連)
委員長 島村暢之